

根尾地区（本巣市）

令和元年度事例

【地域の概要】

- 本巣市は2004年2月1日に、本巣町、真正町、糸貫町、根尾村が合併し、東西17km、南北43km、総面積374.65km²で北部は福井県と県境を隣接しています。市の面積の8割以上が山林で、そのほとんどが根尾地区にある。
- 本巣市の農地面積は2,070haで、そのうち根尾地域の農地面積は298ha（令和元年12月現在）ですが、少子高齢化が進み保全管理状態や遊休農地化している農地が多数発生している地域である。

取組開始前の状況や課題

- 平成30年度の根尾地域の遊休農地は4.5haで、担い手の高齢化も進み、今後農地の荒廃化が加速していくと考えられる。



▲遊休農地化した農地

取組内容

- 農業委員及び推進委員の農地パトロールにより、山林原野化し農地復元が困難な農地の非農地判断を進めるとともに、今後守るべき優良農地の再確認を進める。

- 平成29年度に農業事業を開始したい企業（岐阜トヨペット株式会社）と、対象地域の農地所有者との橋渡し役となり、農地73aの営農を促進した。



▲企業参入した農地

今後の展開と方向性

- 平成30年度には耕地面積を拡大され事業の安定がなされた。

- 農業事業に参入したい企業や地元以外の若い担い手に営農を誘致することで、中山間地の農地の保全を図る。

企業参入による遊休農地解消



根尾宇津志地区 農地地図



企業参入した農地



営農している農地